

体感型ショールーム『ハイムギャラリーパーク山形』オープン

- 「スタディギャラリー」と「Exhibition room」からなる複合型の体感型ショールーム
- 新しい生活様式に適應した家づくりと、レジリエンス機能を最新映像技術で体感

2021年4月23日
セキスイハイム東北株式会社

セキスイハイム東北株式会社（本社：仙台市宮城野区、代表取締役社長：岡田雅一、以下「当社」）は、2021年4月29日（木）に、体感型ショールーム『ハイムギャラリーパーク山形』をオープンします。

セキスイハイムグループでは、この体感型ショールームを全国で推進しており、今回山形県では当社初となる、展示場型の体感型ショールームを開設します。

当施設では、住宅建築を検討されているお客様に、家づくりに関する一般的な知識を学んでいただき、そのなかでセキスイハイムの位置づけや特長をご説明します。これからの住宅に求められる新しい生活様式への対応やレジリエンス機能について、最先端の映像技術で体感しながら楽しく学べるショールームになっています。

これから家づくりをはじめのお客様に対して、今まさに必要性が認識されている、生活様式の変化に対応した住宅の建築知識を検討初期段階に学んでいただくことで、さらなるお客様満足度の向上を目指します。

『ハイムギャラリーパーク山形』の概要

■「スタディギャラリー」「Exhibition room」からなる複合型の体感型ショールーム

「スタディギャラリー」は、[家づくりスタディ][ハイムスタディ][未来の家スタディ]の3つのギャラリーから構成される、映像システムや体感模型を複数導入した体感型のエリア。

「Exhibition room（エキシビジョンルーム）」は、平屋での暮らしを再現した「モデルルーム」エリアで、最新トレンドの間取りや住宅設備、独自の換気・空調システムを体感いただけます。

■新しい生活様式に適應した家づくりと、レジリエンス機能を最新映像技術で体感

①非日常をリアルに感じる映像技術で、災害時や未来の暮らしを学ぶ

家づくりにおいて重要なことを記憶に残るかたちでご理解いただくために、シアターやVRなどを活用した映像体験を導入します。

②自然災害に対する備えや日本の家づくりを学ぶ

当社販売エリアでの関心が高く、備えとしても必要不可欠な、自然災害への対策や山形県の家づくりを実際の構造部材やジオラマ模型、映像などを用いて解説します。

③未来の暮らしを見据えた、いま選ぶべきスマートハウスを学ぶ

スマートハウスの知識や現状、そして将来の発展性について、お客様参加型のコンテンツにより、暮らしとエネルギーのあるべき姿についてご理解いただけます。

■施設概要

- ◎名 称：ハイムギャラリーパーク山形
- ◎グランドオープン：2021年4月29日（木）
- ◎所 在 地：山形県山形市平清水一丁目1-66 ハウジングプラザ平清水内
- ◎定 休 日：毎週火曜日・水曜日
(他、ハウジングプラザ平清水の定休日に準じます。)

『ハイムギャラリーパーク山形』のねらい -山形エリアの家づくり体感型ショールーム-

失敗しない家づくりのためには、適切な情報収集と理解が必要となります。とりわけ情報過多の現代においては膨大な資料やデータの中からお客様だけで正しい情報を選ぶことは困難です。そのため、セキスイハイムグループでは、家づくりを「楽しく、わかりやすく」ご理解いただくための体感型ショールームの展開を加速させています。

セキスイハイムグループにおいて、山形県で初めての「展示場タイプ」の体感型ショールーム『ハイムギャラリーパーク山形』では、家づくりに必要な一般情報を客観的な視点から整理し、お客様の家づくりにおける判断基準形成をサポートすることで、セキスイハイムの建築手法である工場生産による品質の高さ、ユニット工法による性能の高さについてご納得いただく新しい営業スタイルに取り組み、お客様満足度を高めることを目的としています。

『ハイムギャラリーパーク山形』の構成 -「スタディギャラリー」「Exhibition room」からなる複合型施設

学びの場となる3つの「スタディギャラリー」と最新の住まいを確認できる「Exhibition room (エキシビジョンルーム)」から空間構成されます。

1. 「スタディギャラリー」

家づくりスタディギャラリー(2階)

当社販売エリアにおいてお客様の関心が高い自然災害に強い家の基準をご理解いただくための展示を用意。東日本大震災から10年の節目の年となり改めて自然災害に強い家づくりをお客様に向けて情報発信を行います。また多岐に渡る建築工法、仕様部材からご自身に最適な家づくりの情報収集いただけます。

ハイムスタディギャラリー(2階)

セキスイハイムの特徴である工場生産について紹介し、当社がなぜこの建築工法を採用したかの理由を解説します。また、長期にわたってお住まいいただくために必要な知識として、災害発生時に命を守る土壇場力を左右する「住宅構造」「住宅基礎」や、長く安心して住み続けるために必要な「保証制度」について、一般的な実例を交えながら失敗しないための選び方をクイズ形式でわかりやすく解説します。

未来の家スタディギャラリー(2階)

地球温暖化を抑制する環境貢献型のスマートハウスの普及を目指すメーカーとして、見ただけではわからない自然エネルギー中心の暮らしやIoT技術を体感しながら、その利便性や経済メリット、環境効果について解説します。

また、これからの住宅に求められる新しい生活様式に適応した家づくりについても解説します。近年多発する自然災害発生後のレジリエンスを高める観点からは、実際の被災生活で証明されつつある蓄電池による減災への有効性について、日常時のレジリエンスを高める観点からは、新型コロナウイルス感染拡大により再認識されている換気や空気質の重要性と、セキスイハイム独自の換気システム「エアファクトリー」、山形県の気候でも快適に過ごせる暖房システム「ウォームファクトリー」の特長について、わかりやすく解説します。

2. 「Exhibition room」(1階モデルルーム)

実際の暮らしをイメージしながら、新居のトータルコーディネートを楽しみながらご検討いただく場です。セキスイハイムならではの強靱な躯体を活かした大空間・大開口による開放的なプランニングを、平屋を想定した広さで再現しています。独自の換気・空調システムによる快適性も体感いただけるほか、仕事や家事の合間にリラックスできる「うちそと空間」としてLDKに隣接したデッキを設けるなど、ニューノーマルで増えた在宅時間を豊かに過ごす提案を行います。豊富な資料や各種サンプルをご提供することで、お客様のこだわりを細やかに応え、納得度・満足度が高く効率的な家づくりを目指します。

『ハイムギャラリーパーク山形』の特長 – 最先端の体験型映像技術の充実

1. 非日常をリアルに感じる映像技術で、災害時や未来の暮らしを学ぶ

『ハイムギャラリーパーク山形』で導入した主な映像技術や体感型設備は以下の4つです。

① 自然災害発生シミュレーションシアター

東北地方の自然災害発生シミュレーション動画などで構成された映像を体感していただくことで、減災住宅の重要性・必要性を解説します。



▲自然災害発生シミュレーションシアター
※イメージ

② ハイムユニットVR

ヘッドマウント型の360°VR体感装置を導入し、建物の仕組みや構造、建築工程を体験できます。映像は、仮想空間バーチャルファクトリー内で、家づくり博士の「ドクターハイム」が登場するコンテンツです。アトラクション感覚で家づくりをご体感いただけます。



▲ハイムユニットVR ※イメージ

③ 可動型工場ジオラマ×QRコード活用映像配信

セキスイハイムの工場生産の全貌を再現したジオラマと共に、家づくりの各工程を解説します。タブレット端末のカメラ機能を用いてQRコード*1を読み込むことで、ジオラマと連動した実際の工場内建築シーンの映像をご覧いただけます。



▲可動型工場ジオラマ

④ 対話型コンテンツ「未来型スマートハイム」

スマートハウスの利便性や経済メリットを音声操作やスマートフォンの遠隔操作などを活用して、キャラクターと対話しながら生活を体感していただけます。

2. 山形県の自然災害に対する考え方や日本の家づくりを学ぶ

「家づくりスタディギャラリー」では、シアターやVRを活用するほか、住まいの工法模型や実際の部材などを用い、一般的な日本の住宅建築の構造・工法から解説。日本の家づくりにおける大地震への備え方を学ぶことができます。特に住宅選定における「住宅の作り方・基礎の選び方・強い構造の見極め方」については、災害に強い住宅をつくる上での重要な情報と捉え、お客様の家づくりにおける判断基準形成をサポートします。



▲家づくりスタディギャラリー
※イメージ

「ハイムスタディギャラリー」においては、山形県の「雪」について解説します。積雪量が多く、屋根に積もる雪が重い山形県において、家づくりの際に必ず考えておきたいことが「雪」です。雪の重さが家に与える影響や、雪を考慮した敷地の有効利用など、山形県ならではの雪に強い住まいのポイントを学んでいただけます。また、近年多発する地震をはじめとする自然災害など、身のまわりでいつ起きるか分からない脅威への備えとして重要な点や注意すべき点を解説し、山形県に住むうえでの安全・安心についてご理解いただけます。



▲ハイムスタディギャラリー
※イメージ

3. 未来の暮らしから、いま選ぶべきスマートハウスを学ぶ

「未来の家スタディギャラリー（2階）」では、未来の暮らしとスマートハウスの知識や今後の発展性について2つのパートにわけて解説します。

①暮らしの進化年表

1964年東京五輪から現在までの技術の進化と生活の変化を通して、暮らしとエネルギーの深い結びつきをご理解いただけます。

②未来型スマートハイム体感

セキスイハイムのスマートハウス「スマートハイム」で実現可能な HEMS^{※2} 機能、IoT による暮らしの利便性、将来の拡張性について、一日の暮らしを再現するプレゼンテーションでお伝えします。また、感染リスクへ配慮した暮らしへの対応力を高めた、換気・空調システムの実演など、日常生活の安全を守る、最新の住設備についても体感していただけます。



▲(上)未来型スマートハイム体感
▲(中)新生活様式の解説
▲(下)冬の換気方法について
※画像はイメージです

※1：Quick Response の頭字語であり、高速読み取りを目的の1つとしている名称。

「QRコード」はデンソーウェーブの登録商標です。

※2：コンサルティング型ホームエネルギーマネジメントシステム「スマートハイムナビ」

『ハイムギャラリーパーク山形』ショールーム外観



<セキスイハイム東北グループのお客様向け情報発信拠点について>

分類	名称	所在地	対象のお客様	開設時期
体感型ショールーム	セキスイハイムミュージアム仙台	宮城県仙台市	検討初期段階	2019年4月
	セキスイハイムミュージアム福島	福島県郡山市	検討初期段階	2020年1月
	ハイムギャラリーパーク仙台	宮城県宮城郡	検討初期段階	2021年3月
	ハイムギャラリーパーク山形	山形県山形市	検討初期段階	2021年4月
住まいの価値向上 リフォームのための ショールーム	セキスイファミエスギャラリー 仙台	宮城県仙台市	リフォーム検討	2019年11月

[セキスイハイム東北株式会社 会社概要]

- ◎設 立：1983年9月（創業1973年）
- ◎資 本 金：3億円（積水化学工業株式会社100%出資）
- ◎代 表 者：代表取締役社長 岡田雅一
- ◎売 上 高：425億円（2020年3月決算）
- ◎従 業 員 数：597名（単体）（2020年4月現在）
- ◎事 業 内 容：1.ユニット工法住宅の販売・設計・施行管理
2.その他 集合住宅・在来工法等建築工事全般
3.宅地分譲等不動産取引
- ◎事 業 所：本社（仙台市）、仙台支店、仙台南支店、仙北支店、福島支店、福島北支店、
北東北支社、山形支店
- ◎展 示 場：宮城エリア17拠点、福島エリア19拠点、北東北エリア16拠点、山形エリア9拠点
（2021年3月現在）
- ◎グループ会社：セキスイファミエス東北株式会社
- ◎本 社 所 在 地：〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-1 アゼリアヒルズ11階

この件に関するお問い合わせは下記までお願いします。

セキスイハイム東北株式会社

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-1 アゼリアヒルズ11階

- 本社 営業推進部 営業企画課 平石 Tel. 022-369-3816
- 山形支店 ハイムギャラリーパーク山形 高梨 Tel. 0120-33-8163
- お問い合わせ時間：10：00～17：00
- 定休日：毎週火曜日・水曜日